



田尻町議会だより

# たじりの風

8561人

Vol.139

令和6(2024)年  
6月1日発行

■発行/大阪府田尻町議会 ■編集/議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000 FAX 072-466-5028



## 議会報告会・公開討論会

令和6年4月20日(土)午後2時から、たじりふれ愛センター4階研修室において、議会報告会・公開討論会を開催しました。

当日は、町外の方を含め95名という多数の方にご参加いただきました。

第1部は、田尻町議会報告会で、令和5年度の議会の動きについて、報告をしました。

第2部は、公開討論会で、「(仮称)田尻町総合文化センター建設計画について」をテーマに、まず初めに議員が一人ずつ自分の意見を述べ、その後に参加者から意見や質問などをいただき討論を行いました。参加者からは、(仮称)田尻町総合文化センターの建設を望む意見が多く聞かれ、事業の進め方について熱心な討論がなされました。駅上広場に建てる、公民館を改修する、小中学校建替え時に併設する方法など、生涯学習の推進や防災の観点から多くの討論が交わされました。

なお、公開討論会の概要や当日配布しましたアンケートの結果につきましては、町のホームページや次回の議会だよりに掲載させていただきます。

詳しい会議内容は、QRコードをご覧ください。



### 主な内容

|               |     |
|---------------|-----|
| ★一般質問(3月議会)   | 2頁  |
| ★委員会報告(3月議会)  | 7頁  |
| ★審議結果(3月議会)   | 10頁 |
| ★審議結果(4月臨時議会) | 11頁 |
| ★議会の日程(6月議会)  | 12頁 |
| ★常任委員会行政視察報告  | 12頁 |

### 田尻町議会 YouTube チャンネル

- ・議会の様子を視聴することができます。
- ・音声の内容は公式記録ではありません。



# 3月議会 一般質問

- 坂口 実 議員 1. 防災へ学識者のアドバイザー契約を
- 中野 静男 議員 1. (仮称)田尻町総合文化センターについて  
2. 生活支援について  
3. 初動消火に効果のある40mmホースの導入について
- 冬野雄一郎 議員 1. 田尻町の自然災害対策状況について
- 原 明美 議員 1. (仮称)田尻町総合文化センターの今後の進め方について  
2. 田尻町一貫教育について
- 山口明日香 議員 1. 病児・病後児保育について  
2. (仮称)田尻町総合文化センターの今後について
- 今井 猛史 議員 1. 自治体広報媒体について  
2. 一貫教育について
- 吉開 育子 議員 1. 簡易給水タンクの確保を求める  
2. 水道管の耐震化促進を求める  
3. 国保基金を使って保険事業拡充を求める
- 小川 雄司 議員 1. 令和6年度施政方針で栗山町長の認識を問う  
2. 切実な住民要望の実現を求める  
(1)インフルエンザ予防接種助成 (2)有料ゴミ袋容量の多様化  
(3)公民館の雨漏りを抜本的に防ぐ改修を (4)駅上広場を即刻開放し、町民の利用に供すべき  
3. 「まちかど広場」のスポーツ公園化とは  
4. 保幼小中一貫教育の推進について  
5. こども園内の子育て支援センター移転後に0歳児から2歳児保育の受入拡大と0歳児から2歳児までの保育料完全無償化を
- 永井 朋一 議員 1. ふるさと納税について  
2. 役場の土日開庁について  
3. 田尻町の公共施設の計画について

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)  
・閲覧方法・田尻町のホームページ  
[www.town.tajiri.osaka.jp/](http://www.town.tajiri.osaka.jp/) ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

※[答]の中で、安まち局課長は安全安心まちづくり推進局課長兼局長、文化・教育PT課長は文化・教育施設建設プロジェクトチーム課長の略です。



坂口 実 議員

## 問 防災へ学識者のアドバイザー契約を

## 答 立地適正化計画へ防災の専門家を予定

**問** 能登半島地震を教訓として、防災減災対策を第三者の公平な立場で、各分野の専門家や学識経験者とアドバイザー契約を締結し、希望住民が参画し、住民主体の防災対策住民会議を定期的に公開で開催する。能登半島地震の現状は、家屋の倒壊、水道の断水、電線の遮断による停電、ライフラインが崩壊したことにより、洗濯や入浴といった日常生活が維持できない期間や時間を減少させ、災害関連死を減少させる。ハード対策もアドバイス対象とし、家屋の耐震対策、水道管の耐震化、電線の地中化、避難所となる新たな公共施設のシェルター化や温泉施設の新設など、住民の意思を尊重する立案を要望する。

**答** **安まち局課長** 昨年8月に、住民全員が対象とした田尻町安全安心住民協議会が発足し、次年度には災害時に地域のとるべき具体的な防災行動や高齢者等の要支援者などの避難行動計画作成に取り組む。能登半島地震からは、避難所での生活改善、災害関連死の防止策など、取り入れるべき対策を研究し、避難所運営において、地域や防災サポーターとの連携、防災士の育成増員を行う。

ハード対策として、家屋の耐震対策や水道管の耐震化等、所管課において順次対策を進めている。

**問** 防災会議メンバーにも和歌山大学教育学部の方が入っている。教育学部となると、やはり防災の専門家ではないのではないか。

**答** **安まち局課長** 自助共助という、地域の課題解決のため、和歌山大学の先生も入っている。専門家という部分では、具体的に防災の大学教授が入っているかという入っていない。

**答** **事業部長** 都市計画マスタープラン、緑の基本計画に加えて、立地適正化計画の策定を、都市計画の専門家及び防災の専門家に学識経験者として策定に参加いただく予定である。



中野 静男 議員

## 問 (仮称)田尻町総合文化センターの今後を問う

答 文化、防災の重要施設であり進めていく

問 駅上建設見直し決議後に賛成議員からの提案や折衝はあるか、今後の進め方は。

答 文化・教育PT課長 12月の全員協議会で専門家委員会設置への意見と議会での一般質問以降はない。専門家委員会を設置し、その意見を尊重し議会で審議いただき事業を進めていきたい。

問 「第3次生涯学習推進計画」は、(仮称)田尻町総合文化センターを中心に他の施設との連携で考えられているが、影響はないか。

答 生涯学習課長 整備の遅れは町のめざす発展的な生涯学習の推進には影響がある。

問 令和6年能登半島地震を受けて防災に対する考えや対策は。

答 安まち局課長 今回は高齢化が進行している中で、避難行動や避難所運営に課題があった。津波・高潮の脅威から浸水区域外に避難所となる防災機能を持つ施設は住民の安全安心のため必要。

## 問 町独自の生活支援の検討結果は

答 妊婦、子育て世代へお米の定期便等実施

問 12月議会の回答で、子育て世代の生活支援としてプレミアム振興券拡充と町独自の効果的な施策を検討するとの事だったが、施策内容は。

答 子育て・地域福祉課長 妊娠中から子育て世代へのお米の定期便事業、子育て世帯へのプレミアム振興券事業、妊婦から2歳までのタクシー料金助成を実施する。子どもを産みたい育てたいまちづくりをめざし、子育て世代の生活支援、子育て支援体制の充実に努めていく。



冬野 雄一郎 議員

## 問 住民の期待に応える田尻町の自然災害対策状況は

答 防災・減災対策、施設整備をより積極的に進める

問 避難所としての機能を有する(仮称)田尻町総合文化センターについて、今後どのように推進するのか。

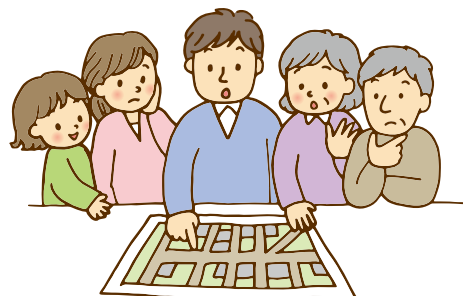
答 文化・教育PT課長 有識者による専門家委員会を設置し、田尻町にとって最適となるよう議員の皆様にご審議いただき、事業を進めたい。

問 昨年6月議会の一般質問で答弁いただいた防災備品、救援資器材の整備状況は。

答 安まち局課長 令和6年度に基本的な救助資材(バールやハンマー等)、救急セット、発電機等を購入し、吉見、嘉祥寺、りんくう地区に配備予定。

問 南海トラフ地震に備えて日本海側の自治体との協力体制が必要では。

答 安まち局課長 今後、つながりや交流ができた日本海側の自治体と積極的に協力体制を作っていきたい。





原 明美 議員

## 問 (仮称)田尻町総合文化センターの今後の進め方は

答 議会の理解を得ながら進めていきたい

問 事業がなぜ止まっていると考えているか。

答 文化・教育PT課長 令和2年度から議会の承認を得ながら事業を進めてきたが、令和5年度の見直しの決議が可決されてから、事業が止まったままになっていると考える。

問 町長選挙で町長が防災文化センターと名称をなぜ変えたかとの指摘については。

答 文化・教育PT課長 文化醸成に加え、防災面からも必要な施設であることを住民へわかりやすく説明するため。

問 安心して過ごせる避難所とは。

答 安まち局課長 エアコンや自家用発電設備、飲料水の備蓄、トイレなどの確保。特に長期間の避難所生活で、災害関連死を防ぐためにプライバシーにも配慮した避難所のあり方について検討していきたい。

問 学校が長期間避難所とならないよう配慮すべきでは。

答 一貫教育推進課長 子どもたちの学習の場に支障が出ることがないように、一日も早く学校が再開できるような対策が必要であると認識している。

問 今後町として、止まっている事業を進めていくのか、断念するのか決意を聞きたい。

答 教育長 多くの方の協力、理解をいただき進めていきたい。

答 町長 昨年の議会選挙後の臨時議会で見直しの決議が通り、それを尊重して秋まで来た。もう一度住民の意見を聞きたいと、町長選挙で唯一の公約として、駅上に文化センター建設を訴えて当選した。前へ進めよとの民意が出たと思う。しっかり賛成していただくよう改めてお願いする。



山口 明日香 議員

## 問 病児・病後児保育の実施を求める

答 事業や支援策の実施を検討する

問 働く家庭において、子どもの急な体調不良や感染症で仕事を休んで看病するという事は避けては通れない。そういった事から、仕事と家庭の両立に対してジレンマを抱えている家庭が増加している。田尻町内に病児・病後児保育施設の設置はできないか。

答 子育て・地域福祉課長 小児科や保育施設、実施可能な場所や利用人数等の関係で、現時点では田尻町内の設置は難しい。まずは利用できる近隣市町の施設の啓発など、できる事から取り組みたい。またニーズの把握に努め、事業や支援策の実施を検討する。



## 問 (仮称)田尻町総合文化センターの今後は

答 避難所の要の施設となり町民の交流拠点となる

問 駅上に建設された場合、防災面で、どのような効果が発揮されるのか。

答 安まち局課長 一時避難所としては、水やトイレの提供、備蓄品の格納等や発災時の気象に左右されない避難が可能となる。また現在、浸水区域外に避難所となる公共施設がない。駅上の浸水区域外にできることは、防災面からは明らかに向上されるものと考え。防災・減災対応力の強化し、避難者にとって快適な環境の確保につながるものと考え。

問 なぜ今(仮称)田尻町総合文化センターが必要なのか。

答 文化・教育PT課長 公民館をどのように改修するかを発端とし、皆様と検討や議論を積み重ねてきた。(仮称)田尻町総合文化センター建設が、人を育む町づくりの実現をめざすための生涯学習活動拠点の一翼を担うと考える。豊かな人生を送るには、自己実現や生活の質の向上を図り、多世代が交流したコミュニティを形成する事も必要となる。その為には拠点となる施設が必要であると考え。



## 問 広報媒体で町民へ周知する取り組みは

答 住民に身近な情報の充実を図っていく

問 ホームページや広報紙に、「たじりっち」を増やし、愛着がわく媒体にすることは可能か。

答 企画人権課長 現状でも使用しているが、キャラクターには限界がある。今後も、伝えやすいイラストや写真を使用し、魅力ある媒体づくりに努める。

## 問 他に例がない「たじり一貫教育」とは

答 成長を切れ目なくつなげ一貫した教育をめざす

問 こども園(保育所と幼稚園)と小学校、中学校が1

園各1校ずつしかない中で、教育体制を充実する取り組みは。

答 一貫教育推進課長 こども園、小学校、中学校の相互理解を図りながら、従来行われてきた意図した共有だけではなく、異年齢の子どもたちが、学校生活の中で自然発生的な交流が生まれるような取り組みを考えている。

答 教育部長 まずは子どもの視点に立って、子どもの育ちにとって、何が一番大事かを第一に考え、適した環境整備や施設整備を進めていく。



## 問 避難所へ簡易給水タンクの確保を求める

答 給水体制を水道企業団と協議する

問 地震で断水した時に、貯水槽から各避難所などの拠点に配水する給水車は、泉南市水道センターに備わっている1台を活用することになる。広域的に断水した場合では、岬町・阪南市・泉南市・田尻町でこの1台だけで間に合うのか、田尻町は自前で組立式簡易給水タンクの確保が必要ではないか。

答 安まち局課長 現在、避難所に給水タンクは設置していない。組立式給水タンクは、避難所など給水拠点になる所の整備と給水の体制を一緒に併せて考えなければならない。水道企業団と協議をしたい。

答 土木下水道課長 田尻水道センターにおいて令和6年度中に、1,000ℓの組立式給水タンク1基を購入予定。田尻水道センターには、災害により大規模な断水が発生した場合、9,000人に対し1日3ℓの飲料水を3日間賄うことができる100㎡の耐震性貯水槽を設置している。また、避難所における拠点給水用として500ℓの給水タンク11基と運搬用トラックを1台所有している。





小川 雄司 議員

### 問 インフルエンザ予防接種助成と30ℓゴミ袋新設を

答 今のところどちらも考えていない

問 栗山町長の公約で、実施されていないインフルエンザ予防接種助成は、泉佐野市が15歳まで1回1,500円を助成しているように実施を求める。

また、国が「より容量の小さいゴミ袋に移行するインセンティブを付与することが重要」と述べているように、30ℓゴミ袋を新設すべきである。

答 健康課長 任意接種のインフルエンザワクチンの有効率は60%であり、実施を保留している。

答 生活環境課長 30ℓゴミ袋の新設は、現在考えてない。

### 問 まず0歳児の保育料の完全無償化を求める

答 無償になれば、待機児がでる可能性あり

問 現在、0歳児～2歳児保育は待機児がいない。育児休業をとる保護者が多い0歳児を無償にしても、広域入所制度も活用できるなかで待機児がでると思われない。3歳児～5歳児は全員無償なのに、0歳児～2歳児は非課税だけ無償というのは問題である。まず0歳児全員を無償にするように求める。

答 教育管理課長 現在、待機児はいないが、無償となれば、待機児がでる可能性があり、待機児はだしたくない。



永井 朋一 議員

### 問 ふるさと納税の今後の方針は

答 新たなポータルサイトの導入を行う

問 なぜ今になって導入するのか。

答 企画人権課長 総務省により告示が改正され、田尻町の主力であった米や加工肉などの返礼品に打撃があった。今後もそのようなことがあったときに備えて、総合的な競争力を高めるため導入を進めている。

問 対応する人員は何名配置しているか。

答 企画人権課長 兼務で1名配置している。

問 1名で広報対策やSEO対策は出来ているか。

答 企画人権課長 現状SEO対策まではできていない。また有料となる広報やPRは事務経費の都合上難しい。

問 いざとなったら田尻町はふるさと納税自体を辞め、撤退することはできるか。

答 企画人権課長 他の自治体へ一方的に寄付が流出し、赤字を増やすだけになるので撤退できない。赤字にならないよう努める。

### 問 役場の土日開庁日の設定を

答 現在、土日の開庁日を設ける考えはない

問 本人の来庁を要する手続きは何かがあるか。

答 住民課長 マイナンバーカードの交付、旅券の受け取り、旅券紛失の届出の3つ。

問 窓口業務を土日も在勤している公民館職員で代行できないか。

答 秘書課長 権限を有する職員がいないので公民館の職員で代行することは難しい。

問 近隣他市で土日開庁している自治体と提携し、先方の市役所窓口にて交付業務を委託できないか。

答 総務部長 他市まで行ってもらってというのはかえってサービス低下につながる。窓口で相談して頂いて、お互いが歩み寄るような解決策で手続きを済ませて頂きたい。

問 窓口業務のDX化を進め、土日開庁に代用できないか。

答 総務部長 今後費用面の障壁が解消されてきたら、住民ニーズに対する効果を総合的に判断し、導入する方針で進めていきたい。

## 3月議会 委員会報告

### 総務建設常任委員会

委員長 原 明 美

審査結果、並びに経過報告 (3月11日開催)

#### ◎田尻町附属機関条例等一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成1、反対3で否決】

**問** 立地適正化計画策定は、(仮称)田尻町総合文化センター建設計画の決着点を待って、すべきではないのか。

**答** 立地適正化計画は、都市計画マスタープランの高度化版で、みどりの基本計画を含めた3つの計画を策定する必要がある。

**問** 都市計画マスタープラン等の策定に当たっては、防災の専門家が入っているか。(仮称)田尻町総合文化センター建設計画が決着してから、都市計画マスタープラン等を策定すべきでは。

**答** 防災に係る学識経験者1名を考えている。計画の策定に2年間必要と考えているため、時期の見直しについては難しい。

**問** 第5次総合計画には、(仮称)田尻町総合文化センターという個別名称は記載していない。総合計画の見直しから始めるべきでは。

**答** 総合計画には、個別名称は記載していないが、生涯学習の推進という形で記載しており、方向性は逸脱していない。

**反対討論** (仮称)田尻町総合文化センター整備計画委員会については、議会が決議している「有識者を交えて全面的に見直すように」という趣旨から外れている。立地適正化計画は、町と議会が審議の場を設け、委託ではなく独自で策定すべき。

**賛成討論** (仮称)田尻町総合文化センター整備計画委員会については、町と議会がねじれているときだからこそ、第三者の専門家の方を入れて、客観的に判断するようにしていただきたい。

#### ◎田尻町下水道条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 隔月検針、隔月徴収を周知する手段は。

**答** 広報紙やホームページ以外に、10月からの実施に向けて、個別通知についても検討する。

#### ◎令和5年度田尻町一般会計補正予算(第9号)の件

(2億6,530万4,000円の減額) 【全会一致で可決】

**問** 退職者の人数は、何人か。

**答** 定年退職者が2名、早期退職者が1名、任期付(小学校講師)退職者が1名、計4名である。

**問** ふるさと応援寄附金の見直しの内容は。

**答** 本町で取り扱っている熟成肉とお米の取扱基準が地場産品に限るとの見直しがあったため、令和5年10月から返礼品の取扱いを休止した。その後、お米に関しては改めて返礼品として登録することが可能となり、登録している。

### 文教厚生常任委員会

委員長 吉 開 育 子

審査結果、並びに経過報告 (3月12日開催)

#### ◎田尻町介護保険条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 基金を取り崩した後、基金残額が少なくなったときに、第10期の保険料が急激に上がることはないのか。

**答** たじりっちポイントの寄附が毎年1,000万円ぐらい見込めるので、それを使って第10期の保険料を抑えていきたい。

**問** 介護事業所への指導に関して、大きな改善はあるのか。

**答** 介護事業所への指導については、広域福祉課が6年に一度監査に必ず入っている。町の方でも、ケアプランのチェックや、ケアマネの研修も毎年実施している。

#### ◎令和5年度田尻町一般会計補正予算(第9号)の件

(2億6,530万4,000円の減額) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種の年間の接種人数と接種率は、どれくらいか。

**答** 令和5年度の春接種は、65歳以上が1,085人で55.8%である。秋接種は、65歳以上が971人で49.5%、65歳未満が217人で3%である。(令和6年2月末時点)

**問** (仮称)田尻町総合文化センター整備運営事業アドバイザー業務委託料の1,870万円の増額だが、当面進捗する状況にない中で、なぜ今、契約期間を延長するのか。

**答** 令和6年度事業を進めるべく予算を上げている。

**反対討論** (仮称)田尻町総合文化センター整備運営事業アドバイザー業務委託料について、今後どうなるかはっきりしない現段階での追加契約は認められない。

# 予算特別委員会

委員長 原 明 美

審査結果、並びに経過報告 (3月14、15日開催)

## ◎令和6年度田尻町一般会計予算の件

・54億3,400万円 【賛成4、反対5で否決】

### 歳入

**問** 令和6年度は、国が定額減税を行う影響で、町民税10%減税はしないと聞いたが、それ以降もないということではないのか。

**答** これまでの取り組みについて、今回一旦効果を検証した。さらに、子育て世帯に対し支援していく方策に発展的に進めている。

**問** 航空機燃料譲与税が、前年度に比べて60%アップで見込んでいるが、当然飛行機の離発着数に影響している部分があると思うが、どういう試算になっているのか。

**答** 令和5年度の交付実績や、国の地方財政計画による伸び率等を勘案して、令和6年度では増額した形で予算措置をしている。

### 歳出

#### 総務費

**問** 奨学金返還支援事業助成金2,880万円の制度の内容は、どうなっているのか。

**答** 対象者は、大学等を卒業して30歳未満で、就業している町内在住の方である。助成金額は、月額1万円、年間12万円を上限として、5年間60ヶ月を支給する。

**問** 広報たじり配布と地区会入会の交換条件はなしにして、広報たじりを全戸配布するようにした方がいいと思うが。

**答** 全町民に広報の情報を届けるのは役場の仕事だと思うが、紙媒体でというのはどれだけ必要か、今後の広報の在り方も考えながら、きちんと構築していきたい。

#### 民生費

**問** 子育て世帯タクシー利用助成事業67万2,000円について、予定人数や上限などを教えてほしい。

**答** 対象世帯は、140世帯と見込んでいる。早くて6月開始で月2回利用するとして、1世帯につき年間20枚を配布する形になる。

#### 衛生費

**問** 清掃施設組合の現在の施設は、いつまで稼働するのか。また、新炉建設の進行状況は、どうなっ

ているのか。

**答** 清掃施設組合の新炉の計画では、令和14年度の供用開始をめざすと聞いている。それまでは、現在の施設が稼働しているという形になる。

**問** 妊婦タクシー利用助成事業47万1,000円が出ているが、予算の枠組みはどうなっているのか。

**答** 助成券は単価600円で、一人につき14回健診に行くとして往復分の28枚、70人分を想定している。

#### 商工費

**問** 「吉祥の地」構築委託料300万円の内容について、教えてほしい。

**答** 吉見と嘉祥寺、一文字ずつ組み合わせて、その交わる地点を縁起の良い場所ということで、「吉祥の地」と命名して、地域活性化につながるような事業を実施したいと考えている。その交わる場所がちょうど田尻歴史館になっているので、そこで何か事業をすべく現在検討しているところである。

**問** プレミアム付き振興券だが、前年度の実績でいくと、あまりにも偏りが店舗によってある。公平性の観点からして、いかがなものかと思うが、どう考えているか。

**答** あくまでも住民の支援も兼ねた形でやっている。振興券を町民の皆さんに使っていただけるような施策として、今後も継続して行っていきたい。

#### 土木費

**問** 田尻町では、農地の利用が緩和されたことにより、現状農地の利用についても課題としてあると思うが、その農地を含めた立地適正化計画を策定することによって良いのか。

**答** 立地適正化計画の対象区域が都市計画区域となっているので、市街化調整区域の地区計画策定により市街地整備についても、当然検討の対象となってくると思う。

#### 消防費

**問** 安全安心住民協議会補助金として89万9,000円計上されているが、防災に係る取り組みについて、地区会とのすみ分けは考えているのか。

**答** 今年度から新設されたもので、安全安心住民協議会が行う防犯や防災に関する色々な取り組み、コミュニティタイムラインの作成など具体的な活動に対する補助となっている。

**問** 泉州南消防組合消防センター改修負担金800万円とあるが、前年度と比べて660万円増えている。どこを改修する予定なのか。

**答** 屋上の防水工事が一番のメインになる。後は、雨漏りを防ぐ壁面等の改修やLEDの取替えなどである。

## 教育費

**問** たじり夢サポート事業を紹介するポスター制作費が上がっているが、住民に対して福祉を行うという前提を崩す大きな問題があるので、やめるべきでは。

**答** 妥当な税金の使い方であると考えており、ふるさと納税を利用する予定である。良い事業なのでやるべきだと多くの声もあるので、理解を得た上で着手したい。

**問** 社会教育関係補助金（活性化事業）とあるが、こういった事業になるのか。

**答** 新設された補助金で、社会教育関係団体が行う他団体との交流・連携や人材発掘育成などの新たな取組みを対象にしている。1団体当たり上限10万円である。

**問** 2年前に請願が出たまちかど広場整備に関する基本計画が令和6年度に上がっているが、今後事業をどのように進めていくのか。

**答** 令和6年度は意向調査やワークショップ開催・基本計画、令和7年度に実施設計、令和8年度に整備工事・条例制定、令和9年度での供用開始を考えている。

**反対討論** (仮称)田尻町総合文化センター建設事業が議会の判断でストップしている現状を直視する姿勢がなく、住民投票の実施を求めたい。また、補聴器の購入助成、30ℓ有料ゴミ袋やインフルエンザ予防接種助成が未実施である。田尻町以外の住民に公金を支出しようとしている夢サポート事業は、金額の多寡によらず、重大問題であるとする。

なかよし学級に待機児童が発生しているのなら、ふれ愛センターを活用すべき。600万円の空調設備費用も不要になる。

(仮称)田尻町総合文化センター関係の予算として計上されているアドバイザー業務委託料1,100万円については(仮称)田尻町総合文化センター関係一切の進捗を認めないため、反対である。

まちかど広場整備に1,600万円もかけずに、駅上広場を利用できるようにすべき。夢サポート事業は賛成だが、(仮称)田尻町総合文化センターの件があるため反対である。

**賛成討論** 夢サポート事業は、町外を含めた広い見識を持った人から、お金には換えられない経験をさせてくれる。補聴器に係る事業は、正しい使い方を啓発するのにとても良い。

生活支援ということで、妊婦、子育て世帯に対する「お米の定期便」や、子育て世帯へのプレミアム振興券追加購入などの事業が入っている。(仮称)田尻町総合文化センター建設を公約の一番に掲げた町長が選挙に勝ったので、住民は(仮称)田尻町総合文化センター建設を支持したと思っている。

学校のトイレ改修等、全体的にくまなく予算編成

されている。

当初から、文化と防災は推進するという立場であるため、(仮称)田尻町総合文化センター建設は賛成である。

◎令和6年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件

・8億3,436万2,000円 【賛成7、反対2で可決】

**問** 基金を活用して、今の物価高にあえいでいる国民健康保険加入者に対し、一人当たり1万円（全体で約1,400万円）の救済策を打つべきだと思うが。

**答** 基金は、現在1億2,000万円ほどあるが、令和5年度は2,800万円ほどの赤字見込、令和6年度もどうなるかわからない。基金は、大切にしておきたい。

**反対討論** 国保完全統一を行うのは、大阪府だけである。国保料を統一保険料率に無理やり合わせられることにより、田尻町の国保料は、大幅な値上げになっている。

1億2,000万円もある基金を活用して、国保加入者に一人1万円の健康増進支援金を実施すべき。

**賛成討論** 減免対象者が被保険者の半数以上もあり、丁寧な対応をしている。

◎令和6年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・1億6,768万7,000円 【賛成7、反対2で可決】

**問** 実際に、軽減にかかっている人数は、どれくらいいるのか。

**答** 2割軽減が163人、5割軽減が167人、7割軽減が564人である。全体では、1,215人となっている。

**反対討論** 保険料率が引き上げられ、一人当たり年額8,002円の引き上げとなっている。75歳以上だけ区別する後期高齢者医療費制度は、廃止しかない。

◎令和6年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・9億1,087万6,000円 【全会一致で可決】

**問** 介護予防の事業について、令和6年度ではどの程度考えているのか。何かプラスして組んでいるのか。

**答** 認知症予防で、地域包括支援センターにコーディネーターを配置して、令和6年度より新たに事業を行っていく予定である。

◎令和6年度田尻町下水道事業会計予算の件

・13億6,600万3,000円 【全会一致で可決】

**問** 吉見ポンプ場長寿命化対策工事について、物価上昇によって工事費がかなり上がっていると思うが、計画当時と予算計上時とでは、どれくらい上がっているのかという調査をしているのか。

**答** 物価上昇に係る金額は把握していないが、予算編成時に変更等を行って、満額執行ができるように事業の推進に努めている。

| 意見が分かれた議案名                                      | 審議結果  | 坂口 | 永井 | 吉開 | 小川 | 原 | 山口 | 冬野 | 今井 | 金田 | 中野 |
|-------------------------------------------------|-------|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|
| 田尻町附属機関条例一部改正の件                                 | 修正案可決 | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | 議  | ×  |
| 令和5年度田尻町一般会計補正予算（第9号）の件                         | 修正案可決 | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | 議  | ×  |
| 令和6年度田尻町一般会計予算の件                                | 否決    | ×  | ×  | ×  | ×  | ○ | ○  | ○  | ×  | 議  | ○  |
| 令和6年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件                    | 可決    | ○  | ○  | ×  | ×  | ○ | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  |
| 令和6年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件                         | 可決    | ○  | ○  | ×  | ×  | ○ | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  |
| 田尻町総合文化センター建設に関する請願                             | 不採択   | ×  | ×  | ×  | ×  | ○ | ○  | ○  | ×  | 議  | ○  |
| （仮称）田尻町総合文化センター建設計画を廃止し、一貫教育施設建設計画に集約・複合化を求める決議 | 可決    | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | 議  | ×  |
| 議案第22号 令和6年度一般会計予算の件に対する付帯決議                    | 可決    | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | 議  | ×  |

## 意見が分かれた議案についての討論内容

### 田尻町総合文化センター建設に関する請願

#### 反対討論

- ・現公民館は築42年であり、大規模リフォームして使用するのが妥当ではないか。駅上広場は仮設住宅用地と残し、住民の安心を与えることが大事である。30億円を超える施設建設計画は、過剰投資ではないか。問題提起をした上で、残念だが賛同しかねる。（小川）
- ・町民の中でも、駅上広場に（仮称）田尻町総合文化センターは建設しないでほしいという声も拮抗している。まちかど広場を造らなくてもよくなる。（吉開）
- ・（仮称）田尻町総合文化センターの一日も早い実現をという設立趣意書からは、駅上広場に（仮称）田尻町総合文化センターをという話には当たらないと判断する。また、0歳児3名の署名も含まれており、もう少し内容を精査する必要があるのでは。（永井）
- ・後々10年先になって、過大な投資だとならないか危惧する。昨年4月の選挙公約は、駅上広場での建設は白紙撤回で当选してきている。（坂口）

#### 賛成討論

- ・1,300人以上の方の署名も集まっている。議員として一番大事なのは住民の声を聞くことだと思っている。議会として無視すべきでない。（原）
- ・今一番大事なのは、住民の命を守ることである。議員の役目を認識し、この請願の重みを感じ、住民のためにも前向きな検討をすべき。（中野）
- ・1,300人余りの（仮称）田尻町総合文化センター建設を望む声が住民の声であり、また第1の公約で掲げた町長が当選したのも住民の声だと思っている。（山口）

### （仮称）田尻町総合文化センター建設計画を廃止し、一貫教育施設建設計画に集約・複合化を求める決議

#### 反対討論

- ・学校施設に集約ということ、誰が望んでいるのか。建替えようとしている学校施設にも、かなりの影響が出てくると思われる。（原）
- ・行動を起こすときは、色々なデータを持って深掘りすべき。保護者、学校関係者にちゃんと理解を得られるのか、大反対である。（中野）
- ・現状でも狭い小中学校の敷地内に複合施設を建てることに対しては、非常に疑念を持っている。専門家委員会を立てて進めていくべき。（冬野）
- ・学校施設との複合化を保護者や子どもが本当に望んでいるのか、一番の疑問点である。コスト削減等言われているが、根拠はないまま。（山口）

#### 賛成討論

- ・地域との連携を考えて、小中学校は現地建替えに決まった。町の中心である今の小中学校のところに、文化センターも建てる工夫はできる。（吉開）
- ・学校だけではなく、他の住民のことも勘案して賛成する。住民投票の審判を下すというのであれば、専門家委員会にも賛同できる。（永井）
- ・ねじれた状況で、結論のないまま何年も進むのは、住民に対しても良くないと思う。打開策の一つと考えるので、賛成する。（坂口）

議案第22号 令和6年度田尻町一般会計予算の件に対する付帯決議

反対討論

- ・何を急いでこのような付帯事項を着けてくるのか、意味が分からない。ガレキを撤去した後に駅上広場を開放すればいい。(中野)
- ・住民の安心安全のために、速やかにガレキを撤去して最低限安全が確認されない限り、開放はできないと思う。(山口)
- ・まずこの土地の有害なものが含まれている可能性のあるガウを撤去して、その上でこの付帯決議を出すべきではと思う。(冬野)
- ・今の段階で、住民にガレキが埋まっているけど使ってと言えるのか、そこをしっかりと考えてやって欲しいので反対とする。(原)

賛成討論

- ・開放は現状でもできるのではないかと所感である。慎重にはしていないと思うが、速やかにと書いているので、賛成としたい。(坂口)
- ・(仮称)田尻町総合文化センターを駅上広場に建設の進捗が図られていない状況を考えると、この付帯決議は有効であると判断する。(小川)
- ・ガレキの撤去や科学的調査などは、今後、駅上広場の開放を目的に行っていけばよいと考えているので、賛同できる。(永井)
- ・ガレキの問題が起こってから、去年3月に大規模な防災訓練を行っており、調査が先にでなくても大丈夫だと判断している。(吉開)

| 令和6年 4月臨時議会 審議結果                                         |                   | ○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし |    |    |    |   |    |    |    |    |    |
|----------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------|----|----|----|---|----|----|----|----|----|
| 意見が分かれた議案名                                               | 審議結果              | 坂口                    | 永井 | 吉開 | 小川 | 原 | 山口 | 冬野 | 今井 | 金田 | 中野 |
| 田尻駅上広場に(仮称)田尻町総合文化センター建設計画の廃止の是非を問う住民投票条例制定の件            | 可決                | ○                     | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | 議  | ×  |
| 発議第3号 田尻駅上広場に(仮称)田尻町総合文化センター建設計画の廃止の是非を問う住民投票条例制定再議の件(※) | 先の議決のとおり決定することは否決 | ○                     | ○  | ○  | ○  | × | ×  | ×  | ○  | ○  | ×  |

○議員の招集請求により、臨時議会が4月15日(月)に開催されました。  
※再議…町長が、議会の議決に対して異議があるときに、理由を示して議会に審議のやり直しを求めることです。再議に付された議決は、過半数ではなく、議長も含めた出席議員の3分の2以上(本町では7人)が、その議決結果に賛成した場合に確定します。

意見が分かれた議案についての討論内容

田尻駅上広場に(仮称)田尻町総合文化センター建設計画の廃止の是非を問う住民投票条例制定の件

反対討論

- ・複合化にあたり、PTAやこども会からの意見を聞いていない。住民の命を軽視し、町の反映を否定する住民投票は認められない。(原)
- ・先ずは、議員同士で十分な議論をすべきである。判断材料が揃っておらず、住民投票は、住民からの声が高まったときで良い。(山口)
- ・行政と議員間で協議しつくしているとは思えない。住民任せの手段を取るの、議員の職務放棄と言われる。住民投票は時期尚早である。(冬野)
- ・議員の心変わりから今の事態を招いており、議員間討論をやるべきと言ってきたが、一度もできていない。住民投票には大反対である。(中野)

賛成討論

- ・住民投票は、住民自治を確かなものにする上で有効であり、代表民主制を補完する制度として設計されているので、賛成である。(吉開)
- ・一般質問などで議論は尽くされており、論点も出ている。住民投票運動を通じて、住民の意見を確実にすることができる。(小川)
- ・住民投票が、最も客観的なデータであり、結果を尊重すると言っている。そろそろ答を出して、前に進むことが必要であるのでは。(永井)
- ・住民の声を聞く上で、住民投票を進めていくのが良いと思うので、賛成する。(今井)

全国町村議会議長会より  
特別表彰を受賞

町議会議員として議会の運営及び自治の振興発展に貢献した功績が認められ、金田 裕治議長が、全国町村議会議長会より特別表彰を受賞されました。



## 常任委員会行政視察報告

### 総務建設常任委員会行政視察報告

委員長 原 明美  
視察日 令和6年1月24日（水）  
視察先 兵庫県淡路市  
北淡路土地改良区、北淡路先端ファーム  
視察内容 農地集約及び企業参入事例について

まず、北淡路土地改良区事務所で、企業参入などの取り組みについての説明を受けた。その後、実際に、玉ねぎ、ワインぶどう、オリーブが広大な土地に整然と作られているところを見たが、田尻町ではこのような土地を確保することはなかなか難しく、どのように進めていけばいいのかと考えさせられた。何よりも、大手の建設会社などが参入し農業法人として行っているの、規模も大きくできるのだろうと思った。

今後、田尻町においても、農家の高齢化、後継者などの問題で、遊休農地が増えていくのではないかと危惧しており、北淡路市の取り組みを参考に、田尻町ならではの農業ビジネスを進めていければと思った。



### 文教厚生常任委員会行政視察報告

委員長 吉開 育子  
視察日 令和6年1月17日（水）  
視察先 大阪府豊能郡能勢町  
義務教育学校 能勢ささゆり学園  
視察内容 施設の概要及び設立後の成果・課題等について

ささゆり学園は、少子化にともなう児童生徒の減少で、平成28年に6小学校と2中学校を統合し、施設を3階建ての一体型に建設し、令和4年に義務教育学校とした小中一貫校。校舎は、大阪府の旧府民牧場の16haという広大な敷地を譲り受けて建設されている。その点では、町中に1小学校と1中学校の校舎が隣接した現地に、建替えと同時に一貫校として一体型施設を建設する田尻町とは違いがある。1年生から9年生までの一貫教育によるカリキュラムや教師の体制、子どもたちの変化、また課題など説明を聞き、一貫教育のイメージがつかめた。また、施設内を見学することができ、田尻町の一貫教育施設づくりの参考になった。これからも、色んな一貫教育施設を視察し、よりよい教育施設づくりのために参考にしたい。



## 令和6年 6月議会の日程（傍聴可能なもの）

- 6日(木) 本会議（開会日）
- 7日(金) 本会議（第2日） ※6日(木)に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 10日(月) 総務建設常任委員会
- 11日(火) 文教厚生常任委員会
- 12日(水) 委員会予備日 ※10日(月)、11日(火)に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 21日(金) 本会議（閉会日）

上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。ぜひ傍聴にお越しください。

## 能登半島地震被災地を支援

令和6年能登半島地震により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

田尻町議会では、被災された方々を支援するため、石川県町村議会議長会に、お見舞金10万円（全議員1万円ずつ寄付）を送らせていただきました。